

科目名		聴覚障害学Ⅱ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
聴覚障害のリハビリテーションの概要を理解した上で、臨床に必要な理論的基礎を習得する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
聴覚障害の特徴、評価法・指導法を学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
聴覚障害の特徴を理解し、リハビリテーションに必要な評価法、指導法の基礎を習得する。									
回数	講義内容								
1	聴覚障害の理解								
2	聴覚の発達と評価（1）								
3	聴覚の発達と評価（2）								
4	リハビリテーション概論（1）								
5	リハビリテーション概論（2）								
6	聴覚活用法（1）								
7	聴覚活用法（2）								
8	聴覚活用法（3）								
9	聴覚活用法（4）								
10	視覚聴覚二重障害の実態について①								
11	「ある盲ろう者の生活から」（ビデオ視聴）								
12	手話・指文字の演習（ビデオ視聴）①								
13	〃 ②								
14	〃 ③（音声、身振り、文字、AAC等）								
15	まとめ								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版		医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。
--